

～おいらせ町の良いところ、ちょっと残念なところ～

No.	誇り	No.	残念
1	<ul style="list-style-type: none"> ・人がいい ・自然 ・住みやすい街(人口が増えている) 	1	<ul style="list-style-type: none"> ・町内の交通が不便だ(特に町民バス) ・地域の活動に特定の人だけしか集まってこない ・良い農産物を活かしてきていない(アピール不足、関係者のつながりが弱い)
2	<ul style="list-style-type: none"> ・住みたいと思える町である(人柄が良い) ・伝統、文化が守られている(合併後も名に変化があまり見られない) ・食べ物がおいしい(農業、水産業が盛ん) 	2	<ul style="list-style-type: none"> ・不登校、クラスになじめない子の救済(三沢のような別施設がほしい) ・「やりたい」きもちを後押し。窓口の明確化。(アドバイス、助成金全額) ・地元産業を活かしてきていない <ul style="list-style-type: none"> ↳ 転勤族の価値観・商売にしてない人の特技を商品開発
3	<ul style="list-style-type: none"> ・陸海空がある ・町民がイキイキしている(主にご老人) ・伝統を守ってきた(百石えんぶりetc) 	3	<ul style="list-style-type: none"> ・下田、百石間での壁がみられる(意識・文化・生活の差) ・交通の便がすべて良いとはいえない(地区による差、昔あった商店等の衰退、年齢による考え方の差) ・土地が有効活用されていない(使われていない田、畑、遊歩道がない)
4	<ul style="list-style-type: none"> ・人口が増えている ・特技を持っている人がたくさん ・奥入瀬川の河川敷がきれい(鮭まつり、清掃活動) 	4	<ul style="list-style-type: none"> ・働き口が少ない ・下田、百石の間に壁がある ・下田、百石間での交流を広げる、深めるべき

※表①

い▼合併したけどあまり変化が実感できない▼20年間の内に2度も大きな震災が起きた▼北部・下田・百石といまだに分かれている▼イオン周辺の開発が遅れている 等々

テーマ②「おいらせ町の良いところ、ちょっと残念なところ」

おいらせ町の時代の流れを再確認したところで、今回のワークショップの本題とも言えるテーマに。各グループでおいらせ町の良い(誇りに思う)ところ、ちょっと残念なところについて語り合い、さらにグループを入れ替えてテーマを膨らませました。たくさん出た意見の中から1グループにつき、誇りと残念をそれぞれ3つに絞り、発表しました。(上記※表①参照)似たようなポイントに注目した意見もあれば、違った視点から見た意見もあり、どれも興味深く、心当たりのあるものでした。

今回は、全国の先進事例からおいらせ町が学べる、活かせるところはありますか、事例紹介映像を見ながら考えます。次回もますます有意義な時間になりそうです。



ラフな雰囲気でありながら真剣においらせ町の良いところ、残念なところについて語るメンバー

おいらせ町の誇り・残念って何？

7月25日(土)、みなくる館ホールを会場に2回目となる「おいらせの学び MIRAI カフェ」が開催され、14名の参加者が集まりました。そのうちの約半数は、前回と違う顔ぶれとなり、また一味違ったカフェとなりました。

今回のワークショップも、青森中央学院大学の佐藤淳准教授をコディネーターに、ワールドカフェの手法で行いました。

第1回では、「おいらせ町のありたい姿」について語り合いました。が、今回はそのありたい姿を目指すために、おいらせ町とはどんな町なのか、どんな状態なのか「おいらせ町の現状」について対話しました。

テーマ①「年表づくり」

様々な視点で過去を振り返りました。おいらせ町の過去だけでなく、日本・世界の出来事、さらにはメンバーそれぞれ個人の出来事を年表にして書き出しました。

始めに町教育委員会社会教育・体育課の成田和久社会教育主事が、町勢要覧に沿っておいらせ町の概要について説明し、そのあとワールドカフェへ。今回は「年表づくり」と「町の良いところ、残念なところ」の2つのテーマで対話しました。

96年以前▼イオンモール下田オープン▼バブル崩壊▼地元へ帰省(個人)

96～00年▼ASO交流開始▼携帯・インターネット普及

01～05年▼イオンから観覧車が消える▼東北新幹線開業

06～10年▼おいらせ町誕生▼政権交代▼リーマンショック

11～15年▼東日本大震災▼おいらせ町へ引っ越し(個人)等々

書き出したことにより、気づいたことも話し合い、時代の流れを共有しました。

▼ここ20年くらい転入者が多

住民
ワーク
ショップ

おいらせの学び
MIRAIカフェ